

日・ジャマイカ共同声明 (骨子)

1. 総論

民主主義、人権や法の支配といった普遍的価値を共有する島国として、両国が、①平和と持続的発展に基づく繁栄、②日カリコム（カリブ共同体）関係の強化、③責任ある国家としての国際場裡での協力を深化することで一致。

2. 平和と持続的成長に基づく繁栄の共有

- 2014 年の外交関係樹立 50 周年を契機として交流を活性化することで一致。
- 両国間の政治対話（含む議員対話）の拡充で一致。
- ビジネス環境整備、幅広い貿易・投資分野に係る協議の促進で一致。
- 技術協力協定の署名を歓迎。
- 観光、文化交流、スポーツ交流等を通じた相互理解の促進の重要性を確認。

3. カリブ共同体（カリコム）との連携強化

- 気候変動、海洋生物資源の持続的使用、国連改革等、地域及び国際場裡におけるカリコムを通じた連携強化で一致。
- 2014 年「日カリコム交流年」を契機として交流を活性化することで一致。
- 安倍総理から、小島嶼国（SIDS）国際会議開催への 5 万ドルの支援を表明。シンプソン＝ミラー首相はこれに謝意。

4. 責任ある国家として国際場裡における協力促進

- 国際法に基づく、平和と繁栄の国際秩序の維持に向けた対話と協力を強化することで一致。
- 国連安保理改革、海洋秩序、軍縮・不拡散、北朝鮮、MDGs、気候変動、防災等の分野での協力確認。
- 国連海洋法が 1982 年にジャマイカで署名開放された事実を想起し、海洋が、自由で開かれ安全なものであるべきであるとの認識で一致。
- ジャマイカへの防災専門家派遣を決定。
- 二国間クレジット制度（JCM）に関する議論を実施する旨一致。
- 安倍総理から、日本の安全保障政策を説明。シンプソン＝ミラー首相はこれを支持。